



No.151

ごが 議会だより

かぞくみんなでキ
ャンプにいきたい
な!



こざわ しんたろう
小澤 伸太郎さん



だいすきなきょう
りゅうをかいたよ



まつもと そら
松本 想空さん



あおき はる
青木 暖さん

ぼくのすきなもの
をかいたよ

- 平成31年第1回定例会
- 常任委員会・予算特別委員会
- ここが聞きたい一般質問
- 令和元年第1回臨時会
- 議会トピックス・議会の動き

今回の表紙を飾るのは川妻認定こども園
おひさまの園児さん達です。



「議会だより」を
スマートフォンな
どで見ることがで
きます。

平成31年第1回定例会（3月）

平成31年度予算を可決

一般会計48億7,000万円 特別会計27億809万円

平成31年第1回定例会が、3月4日から15日までの12日間の会期で開催されました。

本定例会では、平成31年度各会計予算をはじめ、条例の制定・改正及び平成30年度一般会計・特別会計補正予算など31件の議案等が提出され、全ての議案等が原案のとおり可決となりました。

会期中、総務文教委員会、経済建設委員会が開かれ、関連議案について審議されました。

また、3月8日、11日、12日の3日間にわたり予算特別委員会が開かれ、平成31年度の各会計予算について集中審議しました。

なお、町政全般にわたり3名の議員が一般質問を行いました。



会計別予算規模

(単位:千円)

会計名		平成31年度 予算額	平成30年度 予算額	増減額	増減率 (%)	
一般会計		4,870,000	4,630,000	240,000	5.2	
特別 会計	国民健康保険特別会計	996,000	1,176,000	△180,000	△15.3	
	後期高齢者医療特別会計	191,000	175,000	16,000	9.1	
	介護保険事業特別会計	826,100	809,000	17,100	2.1	
	公共下水道事業特別会計	489,246	811,277	△322,031	△39.7	
	農業集落排水事業特別会計	205,744	178,598	27,146	15.2	
	小計	2,708,090	3,149,875	△441,785	△14.0	
合計		7,578,090	7,779,875	△201,785	△2.6	
水道 事業 会計	収 益	収 入	462,420	454,543	7,877	1.7
		支 出	462,420	454,543	7,877	1.7
	資 本	収 入	247,260	239,217	8,043	3.4
		支 出	375,559	368,603	6,956	1.9

平成31年第1回定例会では、2ページのほか下記のことが決定しました。

議案第1号	五霞町教育委員会委員の任命同意について 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定に基づく任命同意 ・石垣洋子氏
議案第2号 (総)	五霞町ポイ捨て等防止条例 清潔で住みよいまちづくりの実現を図るため、ポイ捨て防止に関し必要な事項を定める条例
議案第3号 (総)	五霞町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例 職員の時間外勤務命令を行うことのできる上限等を定めるため条例の一部改正
議案第4号 (総)	五霞町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 人事院勧告に基づく条例の一部改正
議案第5号 (総)	五霞町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例 人事院勧告に基づく条例の一部改正
議案第6号 (総)	五霞町医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例 茨城県医療福祉対策事業の改正に伴う条例の一部改正
議案第7号 (総)	五霞町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 国保税の減免措置に関する条例の一部改正
議案第8号 (総)	五霞町立児童館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 児童館ガイドラインの改正に伴う条例の一部改正
議案第9号 (総)	五霞町保育の必要性の認定基準に関する条例の一部を改正する条例 関係法律の改正に伴う条例の一部改正
議案第10号 (総)	五霞町介護保険条例の一部を改正する条例 介護保険料の延滞金の端数処理に関する条例の一部改正
議案第11号 (総)	五霞町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例 災害弔慰金の支給等に関する法律に基づく、災害援護資金の貸し付けに係る運用の一部が改正されたことに伴う条例の一部改正
議案第12号 (総)	五霞町水道事業の布設工事監督者の配置及び資格並びに水道技術管理者の資格に関する条例 水道法施行規則の改正に伴う条例の一部改正
議案第13号 (総)	五霞町原宿台コミュニティセンターの指定管理者の指定について 指定管理者：原宿台行政区 指定期間：平成31年4月1日～令和4年3月31日
議案第14号	五霞町公共下水道事業五霞町環境浄化センター耐震補強工事の委託に関する協定の一部を変更する協定の締結について 協定金額（事業費）の変更 変更前 1億1,900万円 変更後 9,991万2千円
議案第15号 (総経)	平成30年度五霞町一般会計補正予算（第4号） 歳入歳出それぞれ1億4,543万1千円を減額補正

議案第16号 ⑧	平成30年度五霞町国民健康保険特別会計補正予算（第3号） 歳入歳出それぞれ1,000万円を減額補正	
議案第17号 ⑧	平成30年度五霞町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ341万3千円を追加補正	
議案第18号 ⑧	平成30年度五霞町介護保険事業特別会計補正予算（第3号） 歳入歳出それぞれ320万3千円を減額補正	
議案第19号 ⑧	平成30年度五霞町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ1億3,899万5千円を減額補正	
議案第20号 ⑧	平成30年度五霞町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ7万6千円を追加補正	
議案第21号 ⑧	平成30年度五霞町水道事業会計補正予算（第2号） (収益的収入及び支出) 収入6千円の追加補正 支出6千円の追加補正 (資本的収入及び支出) 収入2,216万1千円の減額補正 支出1,977万円の減額補正	
発議第1号	五霞町議会予算特別委員会の設置	
陳情第1号 ⑧	「医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める意見書」を国に提出 することを求める陳情書	採 択

⑧=総務文教委員会付託 ⑧=経済建設委員会付託

※議案第22号から議案第28号については、新年度の各会計別予算となります。

意見書を提出

定例会で採択された陳情について、地方自治法に基づき、意見書を内閣総理大臣等に提出しました。

(なお、文章は要約して掲載しています)

○医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める意見書

日本の医師数は、人口1,000人当りOECD平均3.3人に対し、2.4人と極めて少なく、週60時間以上働く割合は職種別で医師が最も高くなっています。特に救急や産科では週労働時間は平均80～90時間を超えており、全ての医師の長時間労働の改善、そのための医師不足の解消が求められています。

ところが、政府の「骨太方針2018」では、

2022年度以降の医学部定員減を検討する方向が打ち出されました。医師の養成定員を減らしてしまえば、医師の長時間労働改善の議論に逆行するだけではなく、救急・産科・小児科など、「地域医療崩壊の危機」を打開するため拡大された医師養成水準を引き下げることによって、再び、同様の危機を招きかねません。住民が安心して暮らせる救急医療や地域包括ケアシステム体制の充実が図られるよう、医師数を増やすことを求め、次の事項を強く要請する。

2022年度以降の医師養成定員減という方向を見直し、医療現場と地域の実態を踏まえ、医師数をOECD平均以上の水準に増やすこと。

常任委員会

Q & A

Q ポイ捨て等防止条例を制定するにあたり、土地所有者はポイ捨てがされないよう必要な措置を講ずるとあるが、具体的にはどのようなことをするのか。

A 遊休農地などで草が生い茂っていると、ポイ捨てされてしまうことが多いので、雑草等の除去をしていただき、

ポイ捨てされない環境づくりへのご協力をお願いします。



Q 原宿台行政区が原宿台コミュニティセンターの指定管理者になるが、どこまでの管理を請負うのか。

A 指定管理者の業務の範囲

としては、施設の使用許可等に係る管理と維持修繕等に係る管理になります。

Q 木造住宅耐震診断委託料について、申請件数がない年もあると思いますが、今後予算を半分にするなどの予算措置を考えてはどうか。

A 茨城県では引き続きこの事業を継続しており、現状申請者がいなくても、引き続き予算計上させていただいている状況ですので、ご理解をいただければと思います。

予算特別委員会

Q & A

Q 本町の地方交付税は、類似団体と比較しても少なく、新年度は更に減少する見込みであることについて、どのように考えているか。

A 交付税の制度上、町面積が小さいことや税収があることなどにより恩恵を受けにくい面はありますが、今後も自主財源の確保を基本に、安定財政を目指していきたいと考えています。

Q 公用車47台のうち、22台がリース契約ということであるが、買取る場合と比べ支払金額はどうか。

A リースのほうが若干高く

なりますが、支出を平準化できることから、リースにしています。一般的な公用車については、6年リースした後、町へ無償で譲渡される契約をしています。

Q 地域公共交通事業、代替バス運営事業に係る予算が前年度に比べそれぞれ約150万円ずつ増加している理由は。

A どちらも運行経費が値上がりしていることと、国・県補助金が減少傾向にあることから、町負担分の増加を見込んだものです。

Q 電柱がない箇所にも防犯灯の設置をできないか。

A 電柱から20メートル以内であれば、支線を伸ばして設置が可能ですが、その分の費用も必要になります。今後、ほかの方法も含めて検討していきたい。なお、町内に設置

している太陽光発電の防犯灯は、寄附により設置されたものです。

Q 空家等除去（解体）補助金150万円が新規計上されましたが、何件を見込んでいるのか。

A 老朽化により危険と思われる空き家は、現在5件を確認しています。解体費の一部を助成し、空き家の適正管理に努めていただけるよう、1件50万円を限度に3件分を見込み、予算計上しました。



Q 学童保育は来年度から国の基準を撤廃し、教員数や資格等については自治体の裁量に任せられるという報道がされているが、町の考え方は。

A 学童保育については、川妻認定こども園おひさまと認定こども園五霞幼稚園・保育園に現在お願いしており、変更等はなく、これまでと同じような形でお願いをしたいと考えています。



Q 高齢者いきいき活動ポイント事業の内容とそのポイントの管理はどのように行うのか。

A 60歳以上の方が申請をしていただくとポイント手帳が交付され、町が指定する介護予防事業等に参加されるとポイントが貯まります。1回につき1ポイントがもらえ、30ポイント貯まると商品と交換できます。年度の上限は60ポイントと考えています。

Q 高齢者支援事業の中で前年度と比較すると294万5,000円予算が増えているが、その内容は。

A 養護老人ホームへ入所されている措置費ですが、現在、入所者数は7名で、広域運営

されている養護老人ホーム以外の措置費が増額したため、予算が増えたものです。

Q 茨城県観光協会負担金の8万円について、茨城県内の観光マップ作成等の費用に使われていると思いますが、その観光マップの中に五霞町の観光については、どのような形で紹介されているのか。

A 観光マップの中に1か所載せており、現在、五霞町では道の駅を載せています。

Q 今ある資源を生かしながら、観光客を呼び込める施策として、田植えや稲刈り等の農業体験という形で町をPRする企画が可能ではないかと思うが、町の考えは。

A 農業体験については、色々課題等もありますが、自治体や観光会社等で行っているグリーンツーリズム等も精査しながら、五霞町に合った中で、できるものと考えていければと思います。



Q 五霞町内にある企業の製品を役場庁舎内に展示して、五霞町に来て、この企業で働きたいと思ってもらえるような、PRはできないのか。

A そのようなPRを行っている市町村もありますので、参考にしていききたいと思いません。

Q 土地利用事業化検討業務委託として予算1,500万円を計上してあるが、この内容は。

A 新たな産業系土地利用の可能性を検討するため、地形や土地利用の状況等を調査し、候補地を選定していくための委託料となります。1か所に絞るのではなく、複数箇所を検討し、県等関係部門と協議をしながら進めていきたいと考えています。

Q 中学校の中規模修繕工事設計業務委託料の金額が3,852万7千円と、大変大きな金額ですが、この内容は。

A 設計委託料として、県内の小学校の中規模修繕の事例を参考として、国土交通省が示す積算基準に基づいて、積算をしています。今回の改修が4つの構造物及びその細部に渡ることから、総工事費2億5,685万円の約15%となったところです。

Q 国民健康保険の被保険者数は年々減少しているが、その要因は。

A 75歳到達による国民健康保険から後期高齢者医療保険への移行や社会保険加入要件が緩和されたことに伴う社会保険加入の増加が主な要因です。

Q 後期高齢者医療制度の対象者について、一定の障害のある方は65歳以上が対象となっておりますが、一定の障害の内容は。

A 身体障害者の1、2級の方又は3級の方で内部障害のある方が対象となっています。

大久保 帝二 議員



問 少子化に対応した学校教育について

答 学習意欲の向上を図るための教育環境を充実していく

少子化により、本町でも学校の統合問題を耳にしますが。

問 最近の県内での小・中学校の統廃合は。

教育次長 河内町では、平成18年10月に小・中学校統合検討委員会を設置し、平成29年4月に東西の中学校2校を町中央に新設校として統合し、そこへ、平成30年4月に小学校3校を統合しました。検討委員会設置から12年、河内町の小・中学校が1つとなって「河内町立かわち学園」が町中央に開校しました。

通学では、小学校は2キロ、中学校では5キロを超える児童・生徒を対象に約500人中6割

がスクールバスで通学しています。

問 教育環境の充実について。

教育長 教育環境には、校舎等の建物、机、パソコンなどの物的環境と教科、領域を学び合う人的環境の充実があります。五霞町憲章にある「人を愛し、自然を愛し、郷土を愛しましょう」

を保護者、地域の皆様のご支援を得ながら、郷土愛に満ちた教育の充実に努めています。

町長 本町でも、学校小規模化に伴う問題点を正面から向き合い、地域の皆さんと共に、この課題を分析し、共有し合っ、子どもたちを健やかに育ていく最善の選択をしていきたいと考えています。

町内における小・中学校の生徒数の推移 (人)

	東小学校	西小学校	五霞中学校	計
平成26年	231	143	249	623
平成30年	219	146	183	548
平成36年 (見込み)	170	121	179	470

問 茨城ゆめ国体プレウオークの継続は

答 プレウオークのノウハウを活かし大会を継続していく

問 茨城国体のプレウオークの実績は。

教育次長 ウォーキングプレ大会は、昨年9月に実施しました。小・中学生はウォーキング及びボランティアとして参加。一般参加者116人。当日は800人が参加しました。五霞町では、国体の開催を機に立ち上げたウォーキング協会（五霞歩楽里会）の活動を継続し、国体開催のノウハウを活かして町にウォーキングを根付かせていければと考えています。





問 町の人口減少について

答 自然減、社会減が続いている

平成30年4月の国立社会保障・人口問題研究所（社人研）による最新の将来推計人口で、茨城県では300万人あった人口が2045年には223万5,686人に減少。五霞町は、2015年の人口8,786人が2045年には、5,074人（42.2%の減少）に減少すると推計されたことについて、どう捉えているか。

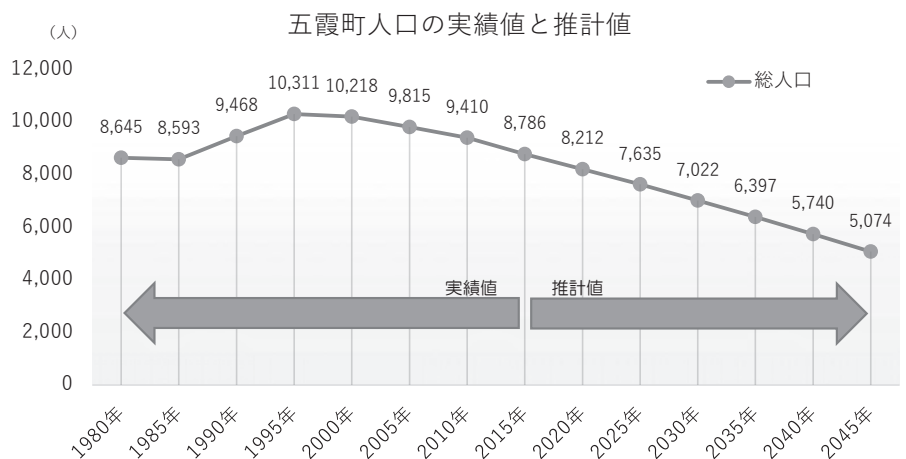
問 現状と将来人口（社人研の将来推計）について。

政策財務課長 実態をきちんと見極め、現実的な目線で今後の将来を見通すことが重要と考えています。また、人口減少抑制のための取組を、引き続き実施していきます。

問 策定中の第6次五霞町総合計画での将来人口の想定と目標は。

政策財務課長 平成31年度中

に改訂する新たな五霞町人口ビジョンをベースに明らかにしていきます。



※2015年までは「国勢調査」の実績値、2020年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」の推計

問 圏央道インターチェンジ周辺地区土地区画整理事業について

答 今年度末、工事はほぼ完了、平成32年2月までに換地処分が終了する

進捗状況及び今後のスケジュールは。

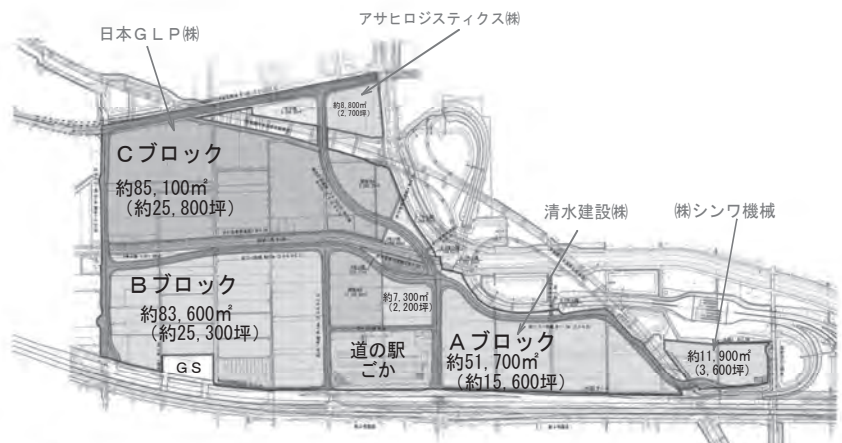
問 Bブロックへの企業誘致は、いつ頃、決定されるか。

副町長 通販事業の拡大により商業施設を取り巻く環境は、以前よりも厳しい状況であります。Bブロックを分割し用途変更も検討してはどうかとの意見もいただいています。引き続き、業務代行者とともに商業系事業者の誘致ができるよう努めていきます。

問 今後、町で計画している新たな開発区域はあるのか。

町長 圏央道インターチェンジ周辺地域、既存の工業団地周辺地域、幹線道路に面した地域、

農業投資密度の低い地域などで、より早期に事業化につなげられるよう候補地の検討を行っている状況です。





問 県道幸手・境線バイパスの進捗状況について

答 暫定開通を平成32年度末と見込む

現県道幸手・境線は、大型車の通行で地震かと思われるような振動があります。新たに整備されますバイパスの振動や騒音、交通安全対策について伺います。

問 開通の見込みは。

都市建設課長 元栗橋浮戸より幸手市内の下吉羽・幸手線までの暫定開通を、平成32年度末と見込んでいます。

問 騒音・振動、交通安全対策は。

都市建設課長 バイパスでは車道中央部に雨水管渠のマンホールを設置、その他の地下埋設物はおおむね歩道の下に埋設されているので、現県道と比較すると、埋設物の設置場所が異なるため、騒音・振動は軽減されるかと考えています。

法定速度は、バイパスでは両

側に歩道が設置され60キロですが、開通後の状況により、住宅街の区間について法定速度の制限見直し対応を境警察署にお願いすることも検討していきます。

信号機は、原宿台地内の町道8号線との交差点部分に1カ所設置されています。少なくとも2カ所の信号機の設置を既に境警察署に要望しています。

問 空き家・空き地の現状と利活用について

答 先進地の事例も参考に、新たな施策を進めたい

先進事例を踏まえ、町の今後の方針を伺います。

問 現在の空き家・空き地、利活用は。

生活安全課長 市街化区域では、空き家戸数26戸・約2,950㎡。空き地61筆・約3万1,844㎡。不動産業者等への情報提供、全国空き家・空き地バンク制度の活用等を推進したいと考えています。

問 東久留米市氷川台自治会の事例について。

生活安全課長 住民の高齢化によるコミュニティの衰退、空き家・空き地の増加から、自治会が、地域の資源としてさまざまな用途に利用し、地域を活性化しました。

問 栃木市の空き家バンクの事例について。

生活安全課長 空き家の有効利用を促進する事業。利用可能な空き家の掘り起こしが必要なほど効果が上がっているようです。

問 まちづくりをどうするか。

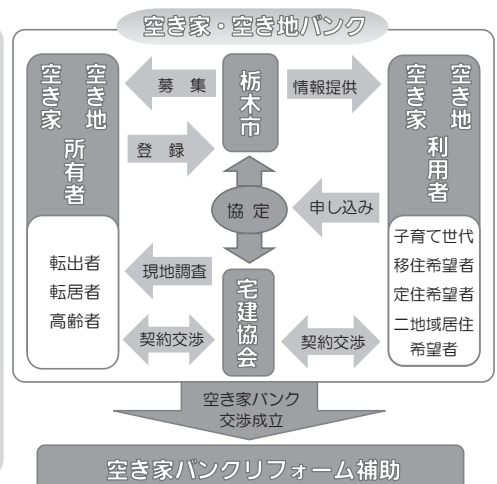
町長 人口減対策としての住宅確保に、空き家の有効活用、市街化区域の空き地を考えていきます。

空家等対策計画の推進とともに、先進地の事例も参考に、空き家等の活用に関する新たな施策を進めたいと考えています。

栃木市の「あったか住まいるバンク」事業

【目的】再利用可能な空き家は空き家バンクを通して売買・賃貸を促進し、「負債産」から「富動産」への転換を図る。

【年次】平成25年度～
 【費用】1,200万円（空き家対策総合支援事業）
 【概要】
 ・登録した空き家の情報を市のホームページで公開。
 ・成約すると「バンクリフォーム補助金」が利用可能。
 ・リフォーム補助50万円 家財処分補助10万円
 【評価】
 ・非常に好調であるが、利用者の急増により、登録物件が不足気味であることから、利用可能な空き家の掘り起こしが必要。



出典：栃木市ホームページ

新体制決まる

五霞町議会議員一般選挙後、初めてとなる令和元年第1回五霞町議会臨時会が5月15日に招集され、議会人事案件が提案されました。

議長に鈴木喜一郎氏、副議長に新井 庫氏が指名推選により選出されました。

その他、各委員会委員及び各正副委員長、町監査委員の選任同意、一部事務組合議員の選任、茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員の選任がされました。

議会人事構成については、次頁別表のとおりです。

議長・副議長就任の挨拶



鈴木喜一郎 議長



新井 庫 副議長

町民の皆様方には、日頃から町政の発展に種々のご協力とご支援並びに町議会に対しまして深いご理解を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、私ども兩名は、五霞町議会議員一般選挙後の初議会である第1回臨時会において、議員各位の推挙により、議長、副議長の重職に就任することになり、身に余る光栄と存じております。同時に、議会は町政における重要な事項を決定する機関であることから、その責任は極めて重大であると痛感しております。

ご推挙を受けましたからには、微力ではありますが、誠心誠意最善の努力をいたし、住民の皆様方の声をくみとり、その総意を十分に尊重すべく最大限の努力を傾注してまいります。

また、厳しい財政事情のもとで、無駄のない効率的な行政運営が強く求められているなか、広範多岐にわたる住民の皆様方のご要望に対し、町執行部ともども地域発展のため努力してまいり所存であります。

どうか今後とも、町民の皆様方より一層のご支援とご指導を賜りますようお願いするとともに、皆様方のご多幸を心からお祈り申し上げ、就任のあいさつといたします。

このほか、次の議案を原案のとおり承認しました。

承認第1号	専決処分の承認について（平成30年度五霞町一般会計補正予算（第5号）） 歳入歳出予算の項目間の組み替え
承認第2号	専決処分の承認について（平成30年度五霞町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）） 歳入歳出それぞれ6,000万円を増額補正
承認第3号	専決処分の承認について（五霞町介護保険条例の一部を改正する条例） 介護保険法施行令等の改正に伴う条例の一部改正
承認第4号	専決処分の承認について（五霞町税条例等の一部を改正する条例） 地方税法等の改正に伴う条例の一部改正
承認第5号	専決処分の承認について（五霞町国民健康保険税条例の一部を改正する条例） 地方税法等の改正に伴う条例の一部改正
報告第1号	平成30年度五霞町一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告 地方自治法施行令第146条第2項の規定に基づく繰越明許費繰越計算書の報告

新しく選ばれた議員の紹介



5番議員
植竹美智雄



4番議員
山本 芳秀



3番議員
江森美佐雄



2番議員
黛 丈夫



1番議員
小野寺宗一郎



10番議員
樋下周一郎



9番議員
鈴木喜一郎



8番議員
宇野 進一



7番議員
伊藤 正子



6番議員
新井 庫

五霞町議会役職構成一覽表

◎委員長 ○副委員長

(令和元年5月15日現在)

役 職 名		人数	氏 名
議 長		1名	鈴木喜一郎
副 議 長		1名	新井 庫
常任委員会	総務文教委員会	5名	◎樋下周一郎 ○山本芳秀 新井 庫 黛 丈夫 小野寺宗一郎
	経済建設委員会	5名	◎伊藤正子 ○植竹美智雄 鈴木喜一郎 宇野進一 江森美佐雄
議会運営委員会		5名	◎宇野進一 ○植竹美智雄 樋下周一郎 伊藤正子 新井 庫
広報編集特別委員会		6名	◎植竹美智雄 ○黛 丈夫 鈴木喜一郎 新井 庫 山本芳秀 小野寺宗一郎
町議会堤防強化事業対策特別委員会		9名	◎植竹美智雄 ○宇野進一 樋下周一郎 伊藤正子 新井 庫 山本芳秀 江森美佐雄 黛 丈夫 小野寺宗一郎
議会選出監査委員		1名	植竹美智雄
さしま環境管理事務組合議員		3名	樋下周一郎 鈴木喜一郎 宇野進一
利根川栗橋流域水防事務組合議員		2名	新井 庫 小野寺宗一郎
茨城西南地方広域市町村圏事務組合議員		2名	樋下周一郎 新井 庫
茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員		1名	鈴木喜一郎

● 議会トピックス ●



五霞中学校の英語授業を視察

2月22日、五霞中学校で2年生の英語授業を視察しました。

当日は、英語担当教師とALT（外国人講師）及び教育活動指導員の3名で授業が行われていました。教師の説明・指示のほとんどは英語で進められ、生徒同士や教師との英語を用いてのコミュニケーションにより、「聞くこと」、「話すこと」を重視した授業が行われていました。

また、電子黒板やタブレット型パソコンを活用したプレゼンテーションを行うなど、活発な学習活動が展開されていました。

議会の動き（3月～5月）

3月 4日	第1回定例会初日	3月20日	議会全員協議会
3月 5日	総務文教委員会	"	広報編集特別委員会
3月 6日	経済建設委員会	4月 8日	議会全員協議会
3月 8日	予算特別委員会	5月 7日	議会初顔合わせ会
3月11日	予算特別委員会	5月15日	第1回臨時会
3月12日	予算特別委員会	"	議会運営委員会
3月13日	一般質問	"	議会全員協議会
"	議会運営委員会	5月17日	広報編集特別委員会
"	議会全員協議会	5月22日	議会運営委員会
3月15日	第1回定例会最終日	"	議会全員協議会
"	議会運営委員会		

わかりやすい議会 Q & A

議員は、選挙区内の人に対して寄附をしたり、あいさつ状を出したりすることは禁止されています。また、有権者が寄附を求めることも禁止されています。

例えば・・・

- ・各種会合へのご祝儀
- ・祭りへの寄附や差入れ
- ・地域の運動会・スポーツ大会への飲食物等の差入れ
- ・町内会の集会・旅行等の催物への寸志・飲食物の差入れ
- ・開店祝の花環やお祝い
- ・葬儀の花輪や供花
- ・お中元やお歳暮
- ・入学・卒業・就職・結婚・出産などのお祝い
- ・病気見舞い
- ・年賀状や暑中見舞い

これらが対象になります。

ただし、次のようなものは除かれます。

- ・自らが出席する結婚披露宴のご祝儀
- ・自らが出席する葬式・通夜の香典
- ・答礼のための自筆によるあいさつ状

皆様のご理解をお願いいたします。

**次回
定例会**

**6/5(水)～6/11(火) 予定
傍聴してみませんか？**

議場で開催される本会議は公開しています。
簡単な手続きで、どなたでも傍聴することができます。

一般質問は **6/7(金)・10(月)** 予定しています。

※詳しくは、議会事務局又は町公式ホームページでご確認ください。

広報編集特別委員会

委員長	植 竹 美智雄
副委員長	黛 丈 夫
委員	鈴 木 喜一郎
	新 井 庫
	山 本 芳 秀
	小野寺 宗一郎